大阪高体連サッカー部
公 式 記 録

会場責任者	主審サイン
三宅　愛	河津　ゆみ香

大会名	令和２年度 大阪高校総合体育大会〈女子の部〉	決勝リーグ	第2節 第1試合	令和2年9月26日　(日) 9 時 00 分 キックオフ	競技時間	80分	記録者 日東　祐月
					観衆		

会場	J-GREEN堺 S11	天候	晴 (曇) 雨	風	強 (弱) 無	人工芝	状態 (良好) 不良 泥沼	審判	主審 河津　ゆみ香　氏 / 副審 A1 藤本　僚祐　氏 A2 池田　翔　氏 / 第4の審判員 大竹　翔太　氏

【チーム名】	kick off			【チーム名】	kick off
大　阪　学　芸 高等学校	先	0	前半 1	大　阪　桐　蔭 高等学校	先
			後半 0		
		0		1	
背番号				背番号	
○ ×			PK戦	○ ×	

交代時間	シュート（得点者は＊印） 延長後半	延長前半	後半	前半	学年	選手名	背番号	位置		背番号	選手名	学年	シュート（得点者は＊印） 前半	後半	延長前半	延長後半	交代時間
分					2	酒井　優羽	12	GK	GK	1	加藤　杏寿	3					分
分			1		3	木村　結衣子	3	DF	DF	2	東　瑞里	1					分
分					2	江口　奈々美	5	DF	DF	3	彦阪　由依	1					分
64 分					2	米田　京	4	DF	DF	4	山下　朝子	2					分
76 分					1	内田　衣泉	28	DF	DF	5	水上　凜子	3					分
分				1	3	吉尾　香音	10	MF	MF	7	升田　莉子	2	1				分
分			1		2	朝倉　加奈子	6	MF	MF	8	山元　麻由	3		2			78 分
76 分				1	2	佐藤　千優	8	MF	MF	9	前田　美海	3		2			分
分					1	小川　由姫	9	FW	MF	10	瀧口　愛梨	3					分
46 分					1	植田　美紅	27	FW	FW	11	林　知奈	2	1				分
交代選手 67 分				1	1	西野　なずな	26	FW	FW	13	片本　奈緒	1	＊ 1	1			69 分 交代選手
交代要員																	
番 分					1	竹仲　凛	23	GK	GK	20	上田　安梨沙	2					分 番
4 番 分					1	川上　七夏	30	DF	DF	6	杉村　菜々子	3					分 8 番
28 番 分					2	三好　華乃	17	DF	DF	12	矢野　愛華	3					分 番
8 番 分					3	茶谷　優心	22	DF	DF	17	徳本　千夏	1					分 番
番 分					1	正木　美里	24	MF	MF	15	橋本　結菜	1					分 番
番 分					2	鈴木 雛子	19	MF	MF	22	東　凪	2					分 番
番 分					2	高取　遥香	14	FW	FW	14	大田　歩美	3					分 13 番
27 番 分					2	西山　紗生	18	FW	FW	16	寺岡　史菜	3					分 番
26 番 分					3	樫森　美空	13	FW	FW	18	尾野　まりん	2					分 番
			2	3	小計	5	合計	シュート数		合計	8	小計	3	5			

警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				10			4	6	G K	5	7			12		分			
	分				6			3	3	C K	5	3			8		分			
	分				4			1	3	直接 FK	4	5			9		分			
	分				0			0	0	間接 FK	0	1			1		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点

時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト	時間	チーム	得点者	アシスト
20 分	大阪桐蔭	片本　奈緒		分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			
分				分				分			

戦評者氏名（　西　井　　綾　）　　協務先又は所属　（ 大阪市立桜宮高等学校 ）

学芸1-4-3-3、桐蔭1-4-4-2のシステム。学芸のキックオフでスタートしたゲームは、序盤、学芸がシンプルに前線に放り込み、バタつく桐蔭DFの隙を突いてミドルシュートを放つ。10分を過ぎ、学芸は1-4-1-4-1の形で桐蔭トップ下の⑪林を封じ、中盤のこぼれ玉を⑩吉尾と⑥朝倉が拾って前線に配球。RSH㉖西野を使った右サイドの攻撃で、いくつかのCKを生むが、得点にはならない。15分を過ぎ学芸の攻撃を凌いできた桐蔭は徐々にペースを掴み、LSH⑧山元を使って左サイドをえぐる。20分に桐蔭⑬片本が、CKを直接決めて先制。勢いに乗った桐蔭は、中盤の攻防を制し、⑪に預けて両サイドを走らせて左サイドを中心に攻撃する。学芸は、桐蔭⑪を抑えることができず、なかなかボールを奪うことができない。後半学芸は1－4－4－2のシステムに変更し、トップに⑱西山を投入して契機をうかがう。桐蔭は大きく蹴ってくる学芸に対してシンプルに跳ね返し、⑬や⑧の仕掛けからミドルシュートを放つ。60分、学芸はCKからのこぼれ玉を⑥がシュートするも、堅い守備に阻まれる。しかし、その後も桐蔭の攻撃の芽をことごとく摘み取り、本来のパスサッカーで桐蔭陣内に入り込む。ボールを支配をし続けた学芸だったが、肝心のバイタルへの侵入がうまくいかず、桐蔭が1点を守り切った。桐蔭は、中盤のボールに対して、人数をかけて奪う守備が功を奏し、前半の勢いのまま堅固な守備をし続けた。学芸の右サイド攻撃や、後半のパスワークは見ているものに何かが起こる予感を与えた。見応えのあるゲームを展開した、両チームの今後の健闘を祈ります。